

能・狂言で味わう四季

講師 伝承文化研究センター所長 林 和利

能・狂言の作品には季節感の漂うものがたくさんあります。室町貴族の美意識を反映した演劇ですから、平安時代以来の和歌の伝統を継承しているのです。



花鳥風月とか雪月花と言われるように、日本の文芸はそれぞれの季節を象徴する風物を大切にしてきました。たとえば、勅撰和歌集の部立て(分類項目)には、春夏秋冬の四季を最初に置く慣わしでした。

その伝統を受け継ぐ能・狂言を通して日本の四季を味わってみたいと思います。

文学博士。1952年兵庫県丹波篠山市生まれ。早稲田大学で国文学・演劇学を学ぶ。研究領域は能・狂言を中心とする日本の古典演劇。博士論文は「能・狂言の生成と展開に関する研究」。中世文学と日本文化全般が守備範囲。東京時代、野村万作師に入門して狂言の実技を習う。著書に『なごやと能・狂言』(風媒社)など。名古屋の狂言活性化に尽力し、自称「名古屋の狂言の応援団長」。

■日程・テーマ

10月5日 秋の狂言「合柿」

11月2日 秋の能「砧」

12月7日 冬の狂言「栗焼」

■日 時 土曜日 午後1時半～3時

■受講料 3回8,300円 各回3,300円

お申し込み方法 052-684-5894(tel, fax)

ご予約のうえ、下記口座にお振込み下さい。

三菱UFJ銀行 栄町支店 普通預金口座

0160603 名義:ソフィソフイ

または当日ご持参ください。

お申し込み・お問い合わせは



創企舎 **ソフィ**

460-0007 名古屋市中区新栄2-6-13

Tel/Fax 052-684-5894 (直通090-8474-6363)

Emai : soukisha-sophy@gd5.so-net.ne.jp

URL : <http://s-sophy.com>

創企舎ソフィ

検索

会場案内図

IMY (アイエムワイ) ビル会議室

〒461-0004 名古屋市中区葵3-7-14

地下鉄東山線「千種」駅①番出口徒歩2分

地下鉄桜通線「車道」駅③番出口徒歩1分

JR「千種」駅徒歩5分(メルパルク北隣)

